

2022-2023年度国際ロータリーのテーマ



2022-2023年度国際ロータリー第2690地区のスローガン
ロータリーの素晴らしさを体感しよう!

2022-2023年度岡山北ロータリークラブのスローガン
新たな道

2022~2023年度 Rotary Club of Okayama North



国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2022.7~2023.6

会長(理事)	廣野景治
副会長(理事)	皆木英太郎
幹事(理事)	中杉山本
副幹事	杉山本
会計	山本
S.A.A.(理事)	牧宮
副S.A.A.	本井
	治也
	洋秀
	郎宏

会員増強・退会防止(理事)	高 晶 浩
広報(理事)	永 山 山 雅 己
奉仕プロジェクト(理事)	馬 場 幸
ロータリー財団(理事)	谷 本 幸
親睦活動	高 橋 茂
プログラム	杉 山 栄
直前会長	岸 本 達
次期会長	

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「会場移動夜間例会」

次回5月30日のプログラム

「ヒカ리를カナタへ」

認定NPO法人 ヒカリカナタ基金
理事長 竹内昌彦様

前回5月9日の例会記録

出席の状況

会員数 50名 (出席免除者0名)
出席者数 33名
欠席者数 17名
出席率 66.00%

ゲスト

米山奨学生
国籍 ベトナム
環太平洋大学 経済経営学部 現代経営学科
ハーゴックアイン様



スケジュール

5月 青少年奉仕月間

23日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
30日(火) 12:30~例会: 竹内昌彦様(ヒカリカナタ基金理事長)

6月 ロータリー親睦活動月間

6日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
13日(火) 12:30~例会: 金沢景敏様(AthReebo(株))
13:40~第12回理事役員会
20日(火) 12:30~例会: 退任挨拶
13:40~第3回被選理事役員会
27日(火) 12:30~例会: 退任挨拶

会長挨拶



9日間にわたるゴールデンウィークということで例会を2回、お休みをいただきました。コロナの緩和によって、皆様方も久しぶりの遠出など、それぞれのお休みを取られたことと思います。

さて、本日の週報にカンボジアでの国際奉仕事業の写真など、事業報告をまとめることができました。本日の理事会でも審議をいただき、次年度に向けての参考になればと思っております。

そして本日は、次年度の奉仕プロジェクトに向けての地区研修の報告となっています。次年度は、創立55周年ということでの記念事業も検討していかなければなりません。どうぞよろしく願いいたします。



地区研修でいただいた 21-22 End Polio の感謝状を杉本直前会長に

幹事報告

1. 5月のロータリーレートは1\$ = 136円です。
2. 本日例会終了後13:30より3F「トパーズの間」において「第11回理事役員会」を開催いたしますので、理事役員の皆様はご出席ください。
3. 次週5月16日（火）の例会は、高田屋岡山駅前店において「会場移動夜間例会」を開催いたします。ご出席予定の皆様はよろしく願いいたします。尚、お昼の例会はございませんのでお間違いのないようお願いいたします。
4. 財団室NEWS 5月号、献血のご協力のお願い、他クラブ週報を回覧いたします。



角南副委員長より出席報告

S. A. A.

廣野君：次年度地区研修・協議会での奉仕プロジェクトに向けての報告。よろしく願いします。

中山君：ハー ゴック アインさん ようこそ岡山北ロータリークラブへ。これからよろしく願いします。

岸本君：本日、先日行われた地区研修会の報告をさせていただきます。

米林君：アインさんの初登場を歓迎申し上げます。

角南君：結婚記念日のお花を頂きありがとうございます。連休に伊豆の修善寺温泉に一泊し、三保松原で富士山を眺めてきました。圧倒的な存在感で、実に美しかったです。

谷本君：結婚祝のお花をありがとうございます。

武南君：妻がロータリーテニス大会で優勝したみたいです。

4月のゴルフで準優勝しました。

本日、地区協議会の報告を内座次年度青少年委員長の代理で報告します。

誕生日のお祝いありがとうございます。

磯島(慈)君：岸本次期会長 奉仕4委員会懇談会では、温かいご厚志を頂き誠にありがとうございました。

難波君：誕生日のお祝いありがとうございます。

宮井君：本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。

牧本君：本日、地区研修・協議会の報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

皆様、本日もスマイルありがとうございました。



スマイル



お誕生日お祝いの橋田会員と

委員会・活動報告

次期奉仕プロジェクト委員会 懇談会を開催

4月16日、鳥根県松江市のくにびきメッセで地区研修・協議会に2023-24年度会長、幹事、奉仕委員会から宮井・牧本委員長、武南委員、磯島慈海副幹事の6名で参加してきました。10時から本会議、昼からは部門別協議会、全体会議で16時30分まで、しっかりと研修して参りました。

鉄は熱いうちに打てということで、参加出来なかった中山常任委員長、吉田委員長、内座委員長を含め次年度奉仕4委員会懇談会を5/1に開催し、創立55周年に花を添える事業が出来るよう熱い議論をいたしました。

理事会報告

第11回理事・役員会 会議録

審議事項

創立記念夜間例会報告書について

承認

夜桜の宴事業報告について

承認

国際奉仕事業カンボジア訪問事業報告について

承認：次年度も継続事業として開催する

プロ野球セ・リーグ公式戦 阪神-DeNA 観戦招待のお願いについて

お断りをする

報告

クールビズ対応について、クラブ細則に規程されていないので、S.A.A.の判断で告知する

地区セミナー報告



「地区研修・協議会の報告」

次期会長 岸本達也 会員

4月16日（日）朝から松江くにびきメッセで、地区内各クラブの次年度会長、幹事、各奉仕委員長を対象とした研修会を開催していただきました。

午前中は本会議として、全員が一堂に参加し地区の方から基調講演や報告を伺い、午後からは部門別協議会が行われ、改めて全員が集まって報告を聞くというスタイルでした。

石倉ガバナナーエレクトの基調講演では、次年度の地区目標のお話をされました。

最重点目標は「会員増強」純増最低1名をお願いされました。

他に重点目標として、「奉仕活動の積極的な実施」「ポリオの根絶」「財団への支援」「米山奨学会への支援」等9項目を挙げられています。

また、クラブ運営で心掛けておくこととして、

「クラブ例会の再確認」「公共イメージの向上」「新会員の研修」の三つを伝えられました。

中でも、「新会員の研修」については、次年度会長の協議会でのテーマとして挙げられ、各クラブより様々な取り組み状況が報告されました。

特に印象に残った内容は、

1. 入会2年目までの会員と情報研修委員長だけで研修をしている（倉吉RC）
2. 同好会を活発に行いIDMが基本（松江南RC）
3. 新会員セミナーをビジョン委員長が開催している（平田RC）
4. グループラインを作り、気軽に相談できる体制作り（大田RC）
5. 「今日からロータリアン」という冊子を基に、20項目程度のテーマに沿って研修を行っている（総社吉備路RC）



等、IDM等の行事を通して伝えていくという報告が多かったのですが、そのやり方は様々で、ルーティーン化して毎年同じことを繰り返しているクラブもあれば、独自にテキスト的なものを作って研修しているクラブもありました。

次年度は、コロナ以降縁あって岡山北RCに入会した新会員を中心に、改めてロータリーのことを知ってもらう機会を設けていきたいと思えます。

そして、ロータリーの魅力を感じてもらい誇りをもってもらえれば、出席率も上がり、最終的には新たな仲間も増えていくと思っています。



「地区研修・協議会の報告」

次期幹事 永山 雅己 会員

部門別協議会 幹事部門の報告をさせていただきます。

まず、クラブ例会の再確認についてですが、必ず毎週しているクラブ、30数回のクラブ、zoom参加をしているクラブ、全くzoomを利用していないクラブ、色々なクラブがある事が分かりました。出席率向上についても夜間例会、新会員歓迎会、誕生日お祝い等、我がクラブでも実施している事をしているクラブが多かったです。

続いてクラブ幹事の役割、地区年間行事予定、地区委員会組織図、地区最重点目標の会員増強を始め9つの目標のご説明があり、地区資金予算の報告がありました。

そして地区大会10/21・22に決定、岡山北ロータリーへのガバナー公式訪問は8/29に決定いたしました。次年度もよろしくお願ひします。



「地区研修・協議会の報告」

次期職業奉仕委員長 吉田 穰人 会員
代理出席 磯島 慈海 会員

職業奉仕委員会

(Vocational Service)

研修は3段階で構成されていました。最初に職業奉仕委員会についての説明を講師の方が話し、次に各クラブの取り組みを発表し、最後に講師の総括という流れでした。

最初に講師の方が話されたのは、海外と日本のロータリークラブとの職業奉仕に対する意識の違いを教えてくださいました。

海外では職業奉仕はあまり必要ないと考えられ、日本だけが重要視して活動しているのが現状とのことです。

結論は話してくれませんでした。私なりに解釈すると「海外では職業は金儲けと意識されていて、ロータリーで職業に繋げることにそれほど意義を感じていない」から。「社会奉仕こそロータリーの役割と考えて

いる」から。

日本では反対に「職業人としてロータリーに所属しているのだから、職業を通して社会に奉仕することこそロータリーの本質である」と考えているから、といったことを話されました。それを聞いて、日本は商工会議所やJCの思想に流されているのではないかと心配しました。

海外と日本の考え方の違いで思ったのは、IDMで角南会員から教えていただいた「Service」の解釈の違いです。Serviceを「奉仕」と訳してしまったがためにボランティアの様な無償奉仕のイメージがついてしまい、日本で誤解がまかり通っていることが問題なのだと思います。

「奉仕者が受益してはいけない」と頑なに考えていることが職業奉仕を難しくしている原因だと思いますので、柔軟に考えれば良いのではないかと思います。

次は各クラブの職業奉仕実績の報告でした。幸か不幸か岡山北ロータリークラブは当てられませんでした。各クラブの職業奉仕活動を伺いました。一番多かったのは『第一例会、或いは例会毎に「四つのテスト」を唱和している』というものでした。「そのどこが職業奉仕やねん。」と思いましたが、四つのテストの唱和自体は良いことだなと思いました。次に多かったのは、職場訪問や従業員表彰をしている、というクラブでした。ほとんどその3種類でしたが、一つ特記する活動がありました。職場に子供たちを呼んで見学してもらった、というものです。従業員のマンネリ化打破や意識向上と共に、子供たちに地域の職業を見てもらうことで、地元はどういった仕事があるか知ってもらい流出を少しでも減らそう、という取り組みでした。そのクラブは検証もされていて、「そんな仕事があることを知らなかった」とか「他にどんな仕事があるか知りたい」といった子供たちの興味に繋がり、更に「職員のモチベーションも上がり、作業に対する意識も高まった」とのことでした。

最後に総括として「職業奉仕という言葉は様々な解釈ができますので、各クラブで職業奉仕とは何かをしっかりと考えて、事業を構築してください」と言葉をいただいて終了しました。



「地区研修・協議会の報告」

次期社会奉仕委員長 宮井 宏 会員

地区研修の内容について報告いたします。

事前アンケートを元に、コーディネーターが活動内容を大きく4ジャンルに分け、各ジャンル3クラブずつ、計12の活動事例をチョイスし、当該クラブに報告してもらうかたちで進められました。

北RCとして、事前アンケートでは、保育園児の育てたチューリップを動物園に寄贈、ミニバスチームとの清掃活動、子どもシェルターモモへの年越しそばときびだんご、という活動内容を報告していましたが、私が指名されることはありませんでした。

活動内容の4ジャンルは、「文化・スポーツ」「青少年教育」「地域活動」「健康福祉」に分けられていました。それぞれ重複しますが、どこに重点が置かれているか、という視点で分けられていたようでした。

文化・スポーツ／街角ピアノの設置や、病院での慰問コンサート、など。

青少年教育／絵本を作って配る活動、中学生への歴史教育、など。

地域活動／寺社への植樹、公園へのベンチの寄贈、など。

健康福祉／発達障害やひとり親の支援、など。

また、その事業の予算、地区補助金の利用の有無も発表され、予算は10万円程度から150万円程度と大きくばらつきがあること、また複数のクラブが共同して行う事業、複数年にわたる事業があることがわかりました。パストガバナーによる総括としては、次の点が整理されました。

- ・地区補助金を大いに活用して欲しい
- ・継続的な活動として欲しい
- ・継続的な活動とするためには外部団体との連携が不可欠

最後に私の感想として、社会奉仕事業は、行政や営利事業の手が行き届かないけれども社会にとって大切な部分に手を差し伸べてゆくことに活動の意義があるということ、そしてそれぞれのクラブのカラーがでる

ということも改めて感じました。

55周年となる来年度に向けて、青少年奉仕と共同して新たな事業を始めることを検討しています。意義のある継続的な事業とすることができれば、と考えています。



「地区研修・協議会の報告」

次期国際奉仕委員長 牧本太郎 会員

国際奉仕部門の地区研修・協議会は、事前アンケートの回答をリーダーが選別して、回答者に詳細を発表してもらう形で行われました。主に、これまでの国際奉仕活動の内容について発表が行われました。

多数のクラブが発表していましたが、新型コロナウイルス感染症による渡航の困難さからか国内で国際奉仕事業を行うクラブが多い印象でした。

奉仕活動事例ですが、鳥取RCではオンラインで在日外国人に向けた料理教室、玉野RCでは技能実習生に向けた日本語教室、松江東RCでは留学生に向けたそば打ち体験・和菓子作りなどの日本の食文化を体験する事業などが発表されました。その他、岡山中央RCや笠岡東RCなども留学生の交流会を実施していました。ただ、集合しての活動は感染症対策や事業の延期・中止があり大変だったとの意見が多く出ました。

海外クラブとの連携や交流については、この3年間あまり活動できていないようで、交流が途絶えたため新しい交流先を探しているクラブもありました。そんな中、岡山西南RCは台湾のRCと交流を続けていて、過去には日本の農業高校と台湾の農業高校を姉妹校にする事業などを行ったそうです。

その他の国際奉仕の形として、高梁RCのカンボジア里親事業（カンボジアの孤児などを支援するあしなが育英会的な事業）や複数のクラブで協力し、月1回1人1000円集めてラオスの小児病院を支援する事業や、済生会に寄付をして岡山在住の外国人を無料診療するという寄付金事業を行っているRCも複数ありました。

協議会の終わりに、森本カウンセラーと庄司カウンセラーから総括のお話がありました。

森本カウンセラーは

- ・国際奉仕活動を通じ他国の文化を理解してほしい
- ・複数年度で行う事業を計画してほしい
- ・複数クラブで行ってほしい
- ・もう一步踏み込んだ事業をしましょう

とお話されました。

庄司カウンセラーは

- ・各クラブ独自の事業を考えてほしい
- ・平和の推進となる事業をしてほしい
- ・ポリオの根絶というRC目標を意識してほしい
- ・米山奨学生と連携した事業を考えてほしい
- ・国際大会に出てください

とお話されました。

以上が地区研修・協議会 国際奉仕部門の報告となります。

次年度はカンボジア継続事業はもちろん、国際大会へもクラブ一丸となって参加しましょう。



「地区研修・協議会の報告」

次期青少年奉仕委員長 内 座 隆 文 会員
代理出席 武 南 浩 二 会員

青少年奉仕部門の部門別協議会に参加しました。岡山を朝7時くらいに出発し、宮井さん、牧本さんと話をしながら9時過ぎに松江の「くにびきメッセ」に到着して、10時から11時30分過ぎまで、大きな会場でのお話の後、各部門ごとにわかれて協議会を行いました。会場に到着すると海老推しの弁当とお茶が用意してありました。

さて、協議会の主な話はローターアクトやインターアクト、青少年交換といった活動に対して現状の取り組み報告や課題について他クラブから意見を挙手で聞く形式でした。ちなみにローターアクトとインターアクトについて今流行りのチャットGPTで調べました。ローターアクトは、ロータリークラブの青少年プログラムのグローバルとして展開されています。主に高校生や大学生が参加し、地域社会の受け入れ活動や国際交流を通じてリーダーシップスキルを学びます。プロジェクトを企画し実行することが求められ、例えば環境保護、教育支援、健康支援などの分野で活動を行っています。一方、インターアクトは、中学生や高校生を対象としたロータリークラブの青少年プログラムです。クラブは、学校や地域社会と連携してさまざまなプロジェクトを実施し、地域課題の解決に取り組むこともあります。要約すると、ローターアクトは主に高校生や大学生向けのプログラムであり、自主的なプロジェクト指導スキルを学びます。一方、インターアクトは中学生や高校生向けであり、地域社会や国際的な交流指導や国際理解を養っています。チャットGPTは便利すぎます。

話を戻しますと、多くの意見としては、会員数が減少していること、コロナにより活動ができなかったこと等の反省でした。大学は奉仕活動をするポイントがつくといったこともあるので、そこを上手く使っているといった意見もありました。青少年交換事業については、コロナの制限がありなかなか近年は実施出来ていない。特に受入れはあっても、送り出しは全くないということも言われていました。

最後にカウンセラーの佐藤RI理事より、ロータリークラブとローターアクトは同等であり、RIでは自立型のローターアクトを目指す流れにあるとの話がありました。親離れ・子離れという言い方をしているが、そのことを意識して取り組んでほしいということでした。

次年度の青少年事業をやっていくところでおおいに刺激を受ける協議会であったので、5月1日に高田屋に集まり、報告会をして内座次年度委員長にしっかりと報告しております。

